

令和5年(2023年)12月18日

山口県立萩看護学校長 様

学校関係者評価委員長

学校関係者評価委員会報告について

今年度の学校関係者評価委員会報告書について、別添のとおり提出します。

学校関係者評価委員会報告書

令和5年12月18日
山口県立萩看護学校
学校関係者評価委員会

I 令和4年度 自己評価に係る各評価項目についての意見

◎ 全般事項

全般事項に関して、以下の意見があった。

- ① 看護は人と人の関りである。看護師としての知識や技術を身に付けることも重要だが、その前段として人間性を育る教育を充実し、看護師としての心と志を持った人材を育成してほしい。
- ② 地域への理解を大事にし、地域に暮らす患者さんの置かれた環境や背景も理解して対応することが必要と考える。病院に来られた目の前の患者さんだけでなく、そういった広い視野を持てる看護師を養成してほしい。
- ③ 学生確保にあたっては、萩看護学校で学びたい（高い国家試験合格率や良好な学習環境、費用が安価であるなどの他にはない特色や魅力）、萩・北浦で働きたい（地域の魅力、働きがい、住みやすさなど）のセットで訴えられるものがあればベストだと思うが、萩看としてのセールスポイントやメリットを積極的にPRすることが大切。グループインタビューによる看護学生のニーズ把握（どんな学校で学びたいか等）も必要。
- ④ 今後、学生確保については、PDCAサイクルによる計画策定、マネジメントが必要と思われます。

I 教育理念・目的・目標

教育理念・目的・目標について、以下の意見があった。

- ① 教育理念の周知等はできている。3年間で学生に社会人基礎力の育成と看護職の心構えを教えてほしい。
- ② 多様化する社会の中でチーム医療を提供するために看護職に求められる役割が大きくなっていると思います。育てたい看護師像がより明確化されわかりやすくなりました。より周知いただくと良いと思います。

II 学校運営

学校運営に関して、以下の意見があった。

- ① 情報システムの更新を定期的に行うとよい。（OSの更新等）
- ② ネットワーク環境の整備により情報共有が進んでいることも良いと思います。情報機器は便利ですが、セキュリティ対策等の運用も重要だと思います。

Ⅲ 教育活動

教育活動について、以下の意見があった。

- ① 授業評価結果のフィードバックがあると次年度以降に活かせる。
教員のキャリア開発はオンライン研修や学会参加などの機会を継続し、学習機会を積極的に持つと良いと思います。
- ② 新カリに改訂されコミュニティ実習がスタートしました。地域の中での患者さんの暮らしに視点が行き、より患者理解が深まると理解できます。
また、地域の中での病院…他の医療機関の役割も明確に伝わる、いい改訂だと思いました。
- ③ 新カリキュラムへの変更についての丁寧なご説明をいただきました。看護の提供の場の広がりに対応できるように実習施設としても協力していきたいと思います。

Ⅳ 学修成果

学修成果について、以下の意見があった。

- ① 国試対策の成果もあり、一看・二看とも100%合格は大いに評価できます。
- ② 国家試験対策に尽力されているので、継続をお願いします。
- ③ 二看は特に国家試験全員合格が続いており、素晴らしい成果です。
- ④ コロナ禍によるリモート講義等、柔軟に対応されていると思います。実習機会の減少により授業で得た知識と実習との統合が十分に行えなかったり、コミュニケーションに対する不安を抱えている学生も多いと思います。臨床現場もできるだけ機会の提供をしていきたいと思います。

Ⅴ 学生支援

学習支援について、以下の意見があった。

- ① 学生が就職後、新人看護師の離職率が上がっている。第二のキャリアを選択するときにある公的な方法（山口県ナースセンターやハローワークなど）の周知をお願いしたい。
- ② 看護師不足が非常に深刻な北浦地域にある学校です。学生が地域で看護職を目指せるように進路指導もより丁寧をお願いします。

VI 教育環境

教育環境について、以下の意見があった。

- ① シミュレーターやVRなど、医療関係の教材のIT化に対応できるように検討をお願いします。
- ② スタッフからの要望もあり実習指導者を固定するようにしているが、年々職員が減少しており厳しくなっている。不可になったら先生方のご支援ご指導をよろしくをお願いします。
- ③ コロナによる実習不足もありますが、シミュレーターによる研修に力を入れている医療機関も増えています。就職しても実際の患者さんに対応する前に動画による手順の確認やシミュレーション研修を行っています。実習指導担当者側も学生がどのような学習環境で学ばれているか情報共有していきたいと思えます。

VII 学生の募集と受入れ

学生の募集と受入れについて、以下の意見があった。

- ① 入学者を増やす方策としては
 - ・募集期間をもう少し長く、時期は遅くした方がいい。
 - ・負担軽減のため、入試日程2日を1日にする。
 - ・追加募集の検討（定員割れの場合）。等考えられますが、やれるところから何でもやるしかないと思えます。
- ② 定員割れしないように、広く学生募集をした方がよい。
- ③ 二看学生数が年々減少しているのが、一番心配なところです。萩看の卒業生が地域医療の大事な担い手です。准看護学院も大きく定員割れしているので、いかに学生を確保していくのかが大きな課題です。
- ④ 山口県では次々大学の看護学部が増設されつつあります。去年は応募者がかなり減少したように思います。准看護学校の学生数の減少の影響もあるでしょうが、唯一の県立看護学校という特色を生かして学生数が増えることを希望します。
- ⑤ 定員割れ対策として、各高等学校や各准看護学院に対し、推薦枠制度の新設はいかがでしょうか。

VIII 社会貢献・地域貢献

社会貢献・地域貢献について、以下の意見があった。

- ① 今の看護学生はコロナの影響を受けた世代で、中高校生時代の行動制限により自発性が育っていない様子があります。積極的にボランティア活動等を通じてコミュニティにある暮らしを体感してほしいと思えます。
- ② 菊ヶ浜の清掃活動、継続的にされていることを知りました。大変素晴らしいと思えますし、地域住民としても感謝を伝えたいです。
ありがとうございます。

Ⅱ 「令和4年度の組織目標（振り返り）」についての意見

各委員からの意見なし

Ⅲ 本校の教育課程、進路指導その他教育活動や学校運営に係る助言について

以下のとおり、

- ① 感染症の流行とカリキュラム改訂で看護学校は大変な時期を過ごされたと思います。病院が協力できることがありましたら、気軽にお声かけください。